

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課

担当課長名：中島威夫

事業名	一般国道 3 6 号 登 別 拡 幅			事業 区分	一般国道	事業 主体	国土交通省 北海道開発局
起 終 点	白：北海道白老郡白老町字虎杖浜 至：北海道登 別 市 本 町 3 丁 目					延長	4 . 6 k m
事業概要 一般国道 3 6 号は北海道の中枢都市である札幌市を起点とし、千歳市、苫小牧市、登別市を經由し、室蘭市を終点とする延長約 1 3 3 k m の主要幹線道路である。当該事業は、登別市街地、白老町虎杖浜地域の混雑解消による道路交通の安全性、確実性の向上を図ることを目的とした延長 4 . 6 k m の二次改築事業である。							
H 元年度事業化		S 5 7 年度都市計画決定 (S 5 8 ・ H 元年度変更)		H 元年度用地着手		H 元年度工事着手	
全体事業費		約 1 0 7 億円		事業進捗率		4 4 % 供用済延長 1 . 2 k m	
計画交通量		2 1 , 0 0 0 台 / 日					
費用対効果 分析結果		B / C (事業全体) 4 . 6 (残事業) 8 . 5		総費用 (残事業)/(事業全体) 4 2 / 8 4 億円 (事業費：42 / 84 億円 維持管理費： 0 / 0 億円)		総便益 (残事業)/(事業全体) 3 5 4 / 3 8 6 億円 (走行時間短縮便益：323/348 億円 走行費用減少便益： 24/ 30 億円 交通事故減少便益： 6/ 8 億円)	
						基準年 平成 1 5 年	
感度分析の結果 事業全体について感度分析を実施 交通量変動：B/C= 5 . 1 (交通量 + 10%) B/C= 4 . 2 (交通量 - 10%) 事業費変動：B/C= 4 . 3 (事業費 + 10%) B/C= 5 . 1 (事業費 - 10%) 事業期間変動：B/C= 4 . 1 (事業期間 + 20%) B/C= 5 . 1 (事業期間 - 20%)							
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される） ・物流効率化の支援（ISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する） ・個性ある地域の形成（主要な観光地へのアクセス向上が期待される） 他 9 項目に該当							
関係する地方公共団体等の意見 室蘭市をはじめとする関係 3 市 3 町 2 村の首長及び議会議長で構成される北海道室蘭地方総合開発期成会及び苫小牧市をはじめとする 1 市 6 町の首長及び議会議長で構成される北海道苫小牧地方総合開発期成会より早期整備の要望を受けている。							
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 平成 2 年マリンパークオープン。平成 1 2 年有珠山噴火の影響により、登別温泉の入込み客数が減少したが、近年は回復の兆しが見られる。（登別市観光入込み数 H12 322 万人→H14 344 万人）							
事業の進捗状況、残事業の内容等 一部において用地補償が難航し、また、埋蔵文化財調査面積が増大したことから時間を要しているが、現在までに 1 . 2 k m を供用している。							
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 用地補償及び埋蔵文化財調査が順調に進めば、平成 1 9 年度までに残区間延長 3 . 4 k m の 4 車線完成供用を図る予定である。							
施設の構造や工法の変更等 耐流動化舗装を活用し舗装の耐用年数の増に伴う維持管理費のコスト縮減等を図っている。また、今後においては、土地収用法を積極的に活用する。							
対応方針 事業継続							
対応方針の決定の理由 以上の状況を勘案すれば、事業採択時から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。							
事業概要図							
							

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。